

報道関係各位

2019年12月13日

## オーストラリア大陸 3,000km 超を走破した工学院大学ソーラーチームの車両を 12/19 に帰国後初の一般公開！

～小さな部品から車両の設計まで、全てを学生主体で製作した“オンリーワン”デザインのソーラーカー～

工学院大学(学長:佐藤 光史、所在地:東京都新宿区/八王子市)の学生プロジェクト『工学院大学ソーラーチーム』が2019年10月にオーストラリアで開催された世界大会「ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(以下BWSC)」に参戦したソーラーカー「Eagle」を、12月19日(木)に東京スクエアガーデン(東京都中央区)で開催される「2019年BWSCソーラーカー展示&大会報告イベント」(主催/株式会社ブリヂストン)に出展します。当日は、チームの学生が説明員として、車両の特徴や世界大会の経験などを伝えます。

### 【本件のポイント】

- 12月19日(木)に東京スクエアガーデンで開催される「2019年BWSCソーラーカー展示&大会報告イベント」で、『工学院大学ソーラーチーム』の学生らが製作したソーラーカー5号機「Eagle」を展示。チームの学生が説明員を務め、車両の魅力や特徴、オーストラリアのレースでの経験などを来場者に語る。
- この車両は、学生が“設計”から“製作”までの全てを行い、今年10月にオーストラリアで開催された「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」に参戦。チャレンジクラス5位入賞、日本チーム初の技術賞受賞を果たす。
- チームは産学連携により帝人グループをはじめとする約50のサポート企業から最先端素材・技術の支援を受けるほか、大学の研究資源(教員)やものづくりの施設を最大限に活用し、学生自らが車両を設計・製作した。



オーストラリア大陸を走破した5号機

### 【本件の概要】

12月19日(木)に東京スクエアガーデンで開催される「2019年BWSCソーラーカー展示&大会報告イベント」で、『工学院大学ソーラーチーム』の学生たちが開発・設計から製作までのすべてを手掛け、作り上げた“オンリーワン”デザインのソーラーカーが展示されます。このイベントを通じて、レースの過酷さやソーラーカーの技術力、環境への取り組みなどを伝えます。

今回展示される5号機「Eagle」は、今年10月にオーストラリアで開催された世界最高峰のソーラーカーレース「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」のチャレンジクラスで5位入賞、日本チーム初の技術賞「CSIROテクニカルイノベーションアワード」に輝きました。当日はチームの学生が説明員を務め、車両の特徴や魅力、レースでの経験などを語ります。

『工学院大学ソーラーチーム』は今年で設立10周年を迎えました。産学連携により約50のサポート企業から最先端素材・技術の支援を受けるほか、各分野で先端研究に取り組む教員陣がアドバイザーとなって学部・学科の枠を超えた横断的な技術支援を展開しています。

■『工学院大学ソーラーチーム』特設サイト

<https://www.kogakuin.ac.jp/solar/>

### 「2019年BWSCソーラーカー展示&大会報告イベント」開催概要

※事前申込不要、参加費無料

- 日時 2019年12月19日(木) 9:30～17:00
- 会場 東京スクエアガーデン1階  
(東京都中央区京橋三丁目1番1号)
- イベント内容(予定)  
BWSCや供給タイヤ「ECOPIA with ologic」の紹介、  
参戦ソーラーカー展示・説明 など

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課/担当:松本・樋口・堀口

TEL: 03-3340-1498/e-mail: gakuen\_koho@sc.kogakuin.ac.jp